

平成31年度 安全・安心で元気な東播磨の社会基盤づくり（主な事業）

1 備える～自然災害に備える防災・減災対策の強化～

(1) 地震・津波対策の推進

① 津波対策（津波防災インフラ整備計画）の推進

a 防潮堤等の健全性の保持（老朽化対策）

- ・東播磨港高砂地区（高砂市）



② 耐震強化の推進 [H35年度までに重要度の高い箇所の対策を実施]

a 橋梁の耐震補強（県下77橋の内、管内18橋）

- ・県道神船頭本線 砂部陸橋（加古川市）
- ・国道250号瀬戸大橋（明石市）
- ・国道250号播州大橋（加古川市～高砂市）
- ・県道曾根阿弥陀線 庵ノ下橋（高砂市）
- ・県道神戸加古川姫路線 上荘橋（加古川市）他



b 流域下水道施設の耐震化

- ・加古川下流浄化センター（加古川市）他



(2) 頻発する風水害に備える総合的な治水対策

① 再度災害防止対策の推進

平成23年の台風12号により被災した法華山谷川において、床上浸水対策特別緊急事業を推進し、再度災害を防止する。

- ・法華山谷川（加古川市、高砂市）
護岸工事、河床掘削



② 河川対策の推進

河川整備計画等に基づいて計画的に改修を進める。

- ・水田川（播磨町） 用地買収、JR山陽新幹線交差部整備、護岸工事
- ・別府川（加古川市） 上流工区（護岸工事・JR橋梁工事にかかる協定締結）
- ・明石川（明石市） JR橋梁工事にかかる協定締結
- ・瀬戸川（明石市） 橋梁工事
- ・赤根川（明石市） 橋梁工事
- ・喜瀬川（加古川市） 用地買収・護岸工事



(3) 流域対策、減災対策の推進（総合治水対策）

- ・神明地域（明石川、瀬戸川、赤根川、朝霧川、谷八木川水系）
- ・東播磨・北播磨・丹波地域（加古川、喜瀬川、泊川、法華山谷川水系）
- ・中播磨地域（天川、西浜川、八家川、市川、野田川、船場川、夢前川、汐入川、大津茂川水系）

	流域対策「ためる」	減災対策「そなえる」
主な取り組み	・ため池事前放流の啓発 ・田んぼセキ板の配布 ・ため池洪水吐の形状変更	・雨水貯留タンクの設置 ・出前講座等の開催 ・ジュニア防災スクールの開催

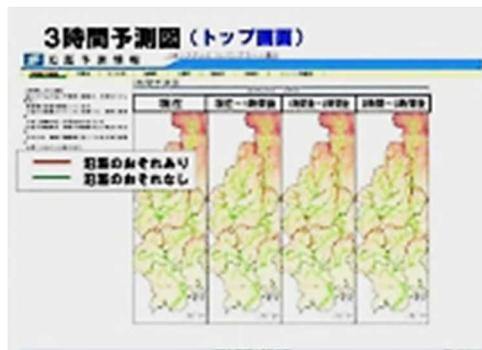
(3) 減災のためのソフト対策の推進

① 土砂災害特別警戒区域（R 区域）の指定推進

地元市町と連携し、R 区域の調査、指定を進める。

② 警戒避難活動に役立つ危険情報の提供

- a 河川氾濫予測システム（法華山谷川、明石川等 9 水系）
- b 河川監視カメラ（別府川、曇川、西川、法華山谷川、草谷川）
- c CGハザードマップ スマホ専用サイトでも提供中



河川氾濫予測システム



CGハザードマップ
(スマホ専用サイト)

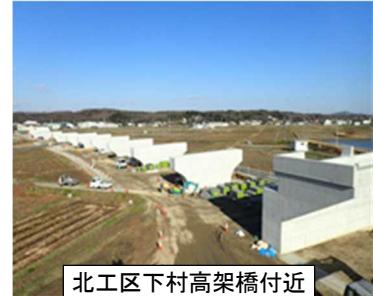
2 支える ~ 日常生活や地域を支える社会基盤の充実 ~

(1) くらしの交流を支える道路整備の推進

① 国道・県道の整備推進

a 東播磨道、(都)尾上小野線（安田工区）

東播磨臨海部と北播磨内陸部の地域連携の強化、交通渋滞の緩和、安全性の向上等を目的に、国道250号から国道2号加古川バイパス（加古川市野口町）を経て国道175号（小野市池尻町）に至る東播磨地域の南北幹線の整備を推進する。



東播磨道の国道2号～八幡稻美ランプ間(6km)及び都市計画道路尾上小野線の市道加古川中央線～国道2号間(0.8km)は、平成26年3月23日に供用開始した。

東播磨道の八幡稻美ランプ以北(6.9km)は、平成28年度から用地買収、道路・橋梁設計に着手、早期の供用を目指し、整備を推進する。また、都市計画道路尾上小野線（安田工区、国道250号～市道加古川中央線0.7km）の4車線化拡幅整備を推進する。

b 国道2号和坂拡幅

東西幹線道路である国道2号の和坂交差点における慢性的な渋滞を緩和し、交通の円滑化を図るために、4車線化拡幅整備に取り組む。現在はJR跨線橋である林崎橋（西行2車線）の橋梁工事を実施している。



c (主)宗佐土山線（天満大池バイパス）

稻美町中心部を通る南北幹線道路であり、4車線バイパス整備により明石西ICへのアクセス向上と安全で円滑な交通確保を図る。このうち、現道拡幅部である六分一交差点から天満大池交差点間は平成27年11月に供用を開始しており、天満大池バイパスについては、平成27年度から事業を開始し、平成28年度から用地買収に着手している。



d (主)高砂北条線

加古川バイパス、山陽自動車道等の基幹道路を連絡し、広域的な地域の連携、交流を図るため南北幹線の整備を推進しており、平成27年4月10日に宮前バイパスの供用を開始した。引き続き、西井ノ口交差点の早期渋滞解消に取り組む。



② 渋滞交差点・問題踏切の解消 [H35年度までに半減を目指す]

a 新渋滞交差点解消プログラムの推進 [県下 57箇所の内、管内 18箇所]

渋滞交差点の解消・緩和に向け、右折レーン・歩道設置を推進する。

相生橋西詰交差点（県道明石高砂線）、野谷交差点（県道志染土山線）

西井ノ口交差点（県道高砂北条線）他

b 踏切すっきり安心プラン (H31～H35) の推進

遮断時間が長いボトルネック踏切や、踏切部の歩道が前後区間に比べて狭い危険な踏切等の対策を推進する。

[県下 65箇所（市町含む。内県 16）の内、管内 9箇所（市町 6、県 3）]

JR 山陽本線（東加古川駅付近連続立体交差区間）他

③ 歩行者・自転車の安全対策の推進

a 歩道新設・既設歩道のバリアフリー化

学校周辺の通学路や事故が多発している箇所において、歩道等の整備を重点的に進めるとともに、福祉のまちづくり重点地区等におけるバリアフリー化を推進する。

国道 2 号（明石市魚住町清水）、県道明石高砂線（加古川市別府町緑町）

県道有瀬大蔵線（明石市東野町）、

県道江井ヶ島大久保停車場線（明石市 江井ヶ島踏切）

県道神戸加古川姫路線（加古川市平荘町）他

b 通学路緊急合同点検結果に基づく交通安全対策（路肩のカラー舗装など）

路肩のカラー舗装等による、通学路における安全確保を図る。

c 歩行者・自転車分離大作戦の推進

自転車専用通行帯等の整備により、歩行者・自転車の安全対策を推進する。

d 生活道路緊急改善事業

側溝蓋掛け等による生活道路の安全確保と通行支障箇所の早期解消を図る。

④ 地域課題の解決に向けた取組み

・県道神戸加古川姫路線 山角バイパス

・国道 2 号の 4 車線化(対面通行化、加古川橋架替)

・JR 曽根駅周辺整備に係る検討 他



(2) 都市の活力を支える基盤整備の推進

① 街路の整備推進

a (都) 加古川別府港線（中津工区）

加古川バイパス、国道 2 号等と連絡する南北幹線道路であり、同工区の整備により加古川駅へのアクセス向上と円滑な交通を確保する。

b (都) 朝霧二見線（谷八木工区）、（江井島工区）

歩道の整備等により、交通安全の向上や円滑な交通処理を図る。

3 つなぐ ~ 次世代につなぐ社会基盤の形成 ~

(1) 基幹道路ネットワークの充実強化

① 高規格幹線道路等の整備推進

a 播磨臨海地域道路（区間：神戸市～太子町 約 50 km）

平成 25 年 5 月「優先区間の絞り込み調査」が採択され、同年 12 月近畿地方小委員会による第 1 回審議が開始、平成 26 年 5 月に第 2 回審議が行われ、さらに平成 27 年度には地域の意見聴取（アンケート・ヒヤリング調査）が実施された。平成 28 年 5 月に行われた第 3 回審議において、「当面、都市計画・アセスを進める区間」（第二神明～広畠）、「優先区間」（第二神明～明姫幹線、高砂～飾磨バイパスを含む 3 区間）が絞り込まれた。現在、概略ルート、構造を検討するための調査を進めている。

引き続き国、県が緊密に連携しながら調査を進め、地元市町、経済界等と連携し、早期の「計画段階評価」完了を国へ要望するなど、事業化に向けて積極的に取り組む。

(2) 港湾の機能強化・利用促進

① 港湾施設の整備推進・港湾の利用促進

a 東播磨港（二見地区、高砂地区）

二見地区では、防波堤整備により、港内の静穏度を確保し係留船舶の安全性の向上を図る。また、高砂地区では、浅くなつた航路の浚渫を行い、航行船舶の安全性を確保する。

b 明石港東外港地区

公共埠頭（砂利揚げ場）及び展望公園の再開発実施に向け検討を進める。

(3) 計画的・効率的な老朽化対策の推進

① ひょうごインフラ・メンテナンス 10 箇年計画の推進

橋梁、排水機場等の長寿命化計画などをもとに、老朽化対策（修繕・更新事業）の内容をまとめた「ひょうごインフラ・メンテナンス 10 箇年計画」に基づき、計画的・効率的な修繕・更新を実施する。

加古川土木事務所管内 (箇所)			
	総数	要対策	
		A、特A	内、特A
橋梁	346	35	13
アンダーパス	5	2	1
横断歩道橋	55	31	6

a 橋梁・アンダーパス

- ・国道 250 号 二見高架橋（明石市）
- ・国道 250 号 一色高架橋（加古川市） 他

b 横断歩道橋

- 利用者の少ない横断歩道橋を撤去
- ・国道 250 号 野添歩道橋（播磨町）



c 流域下水道施設

- ・加古川下流浄化センター（機械、電気設備の更新、修繕）

d 港湾施設

- ・東播磨港 伊保地区物揚場（高砂市）、
二見地区物揚場（明石市）^新



② 安全・安心のための日常維持管理の実施

トンネルや橋梁、道路法面等の安全点検や舗装修繕を適切に実施するとともに、災害に備えた河川の堆積土砂除去、河川や港湾施設の設備点検など、日常的な維持管理を着実に行う。

(4) その他

① 明石城築城400周年記念事業の実施

- ・樹木の伐採・せん定による明石城の石垣・櫓の景観向上
- ・千本桜の樹勢回復
- ・お堀の水景観改善

[樹木の除伐・せん定による明石城の石垣・櫓の景観向上イメージ]



石垣前に樹木が繁茂して石垣が隠れています



樹木を除伐・せん定し、緑陰も残しつつ上部
1/4程度が見えるようにします

② 高砂みなとまちづくり・堀川周辺地区活性化の応援

工楽家を中心とした歴史的建造物の整備等、まちの活性化支援。

③ 高校生によるインターンシップの取組み支援

地域の事業に関心を持ち、地域で活躍する人材の育成を支援するためのインターンシップを支援する。

④ 広報の充実

加古川右岸自転車道、姫路明石自転車道、明石公園、高砂海浜公園など、既存のインフラストックを地域の魅力として積極的にPRしていく。



インターンシップ（東播工業高校）

⑤ 新技術、新工法の導入

3D測量や3D設計など、最新のICT技術を導入することにより、CIM(Construction Information Modeling)の試行に取り組む。